



近畿印刷産業機材協同組合(坂本進理事長)は6月14日、大阪・中央区のKKRホテル大阪において第69期通常総会を開催。議案すべて原案通り承認可決された。

同協組の新年度は、連携組織としての役割を果たすべく各種施策を実施。具体的には、組合員企業の生産性向上支援訓練の実施をはじめ、政府や大阪府などが実施する補助金・税制事業などに関する情報発信や説明会開催、また大阪印刷関連団体協議会加盟の業界他団体との連携強化および共同事業などを実施していく。さらに来年1月31日には組合創立70周年記念式典の開催を計画。新年度予算1,707万9,000円を計上している。

総会終了後には、アクサ生命保険(株)の日下英樹氏を講師に招き「中小企業に広がる健康経営」と題した講演を開催。健康経営の必要性やその背景、取り組みの方向性などが解説された。



講師の日下氏▶



加貫氏に花束を贈呈

引き続き催された懇親会の席で挨拶に立った坂本理事長は、今年のG20やラグビーワールドカップをはじめ、2021年のワールドマスターズゲームズ、2025年の大阪万博といった関西での開催イベントにふれた上で、「これを一時的な出来事と終わらせず、関西経済浮揚のきっかけになって欲しいと切に願う」との心境を語った。

また、令和元年春の叙勲で旭日双光章を受章した加貫順三氏(元 近畿印刷産業機材協同組合理事長・(株)加貫ローラ製作所会長)の栄誉を称え、坂本理事長から加貫氏に花束が贈呈された。



組合員企業の生産性向上支援へ

近畿印刷産業機材協同組合 第69期通常総会

6月14日、KKRホテル大阪 2020年1月に70周年記念式典